

# 和光

発行 〒894-0007 鹿児島県奄美市名瀬和光町1700番地

国立療養所 奄美和光園

電話(0997)52-6311 FAX(0997)53-6230

令和8年2月1日  
(2026)

第140号



■表紙	1
■年頭に当たって	2~3
■福岡法務局人権擁護部長等の訪問について	4
■鹿児島地方裁判所名瀬支部による人権啓発研修を実施して	4
■ホスピタルライブ開催	5
■オープンデー	6
■令和7年度 合同慰霊祭	7
■ふるさとお楽しみ便 贈呈式のご報告	8
■令和7年度 第2回 バスレクリエーション	9

■ドキドキワクワクのハロウィン	10
■クリスマスイルミネーション	11
■クリスマス会	12
■永年勤続表彰	13
■緊急臨床検査士の資格を取得	14
■国立病院総合医学学会に参加して	14~15
■令和7年度 国立ハンセン病療養所介護員研修	16
■令和7年度 第2回園内感染予防対策研修	17
■アロマ精油について	18
■NST News Letter	19
■診療統計・学芸員・和光園日誌・編集後記	20

## 基本理念

私たちは、入所者一人ひとりの生命の尊厳と人権を守り、豊かな自然環境につつまれた穏やかで心豊かな療養生活と、安全で安心できる医療を提供します。

## 基本方針

1. 入所者の終の棲家として心穏やかな暮らしを支えることを基本とします
2. 入所者自治会とよく話し合い 入所者本位の運営に努めます
3. 入所者一人ひとりの日々の変化にきめ細かく対応いたします
4. ハンセン病による後遺症や合併症の対策をしっかりと行います
5. 入所者が高齢化していることを念頭に置き 健康保持の活動や生活を支える医療さらには感染予防・認知症対策に重点を置きます
6. 地域医療とも連携し 適切で標準的な医療の提供に努めます
7. ハンセン病に対する正しい知識を普及させるため 啓発活動に努めます
8. 開かれた療養所となることを目的に地域社会との交流促進に努めます
9. 入所者の健康と安全な生活に貢献できるようすべての職員の質の向上に努めます



# 年頭に当たって



国立療養所奄美和光園  
園長 馬場 まゆみ

令和8年の年頭に当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。12月中旬から晴れ間が少なく、年の始まりも奄美の冬らしい天気となりました。昨年も各地から自然災害や事故の痛ましいニュースが数多く耳に入ってきました。被災された方々、被害にあわれた方々に改めて心からお見舞い申し上げますとともに、1日も早く穏やかな日常が戻ることを心よりお祈り申し上げます。

今年の干支は「丙午（ひのえうま）」です。「丙」は「火」の要素を持ち、太陽や明るさ、生命のエネルギーを表し、また午（馬）は俊足を持ち、独立心が強く、一方で古くから人を助けてくれる存在でもあります。そのため丙午の年は「勢いとエネルギーに満ち、活動的になる年」になると考えられています。昨年の「乙巳」で「努力を重ね、安定」を得たのち、本年はペガサスのごとく力強く駆け、空を舞い、さぞかし勢いのある年となることでしょう。

園内に目を向けますと、令和7年も年間を通じて感染対策を講じる必要はありましたが、園内行事にとどまらず、奄美まつり（花火大会、舟こぎ競争）の観覧や園外バスレクリエーションなども年間行事とし

て行うことができました。夏祭りや敬老祝賀会では関係機関の他、地域の方々にもご参加いただき、懐かしい方との再会に笑顔の花が随所で咲いていました。

令和7年度は奄美市制施行20周年であり、様々な企画がありました。そのイベントの1つとして「奄美和光園オープンデー みんなで学ぼう！ハンセン病」が開催されました。初めての試みであり、感染対策に加えてハブなどの危険生物対策も必要であり、不安とワクワクが交錯するなか当日を迎えましたが、入所者も飛び入り参加する場面もあり、大盛況のうちに幕を下ろしました。企画・運営に携われた方々、ご参加いただいた市民の皆さまに感謝するとともに、次回開催にも期待いたします。

入所者のライフサポートにおいては、一昨年に続き、昨年も「〇〇したい」という園内で実施可能なことから、「他園に遊びに行きたい」「徳之島に帰りたい」「墓参りに行きたい」といった外出まで、ご希望を実現することができました。入所者ごとに手探りで作成していた支援計画も、成功例が蓄積したことから支援計画作成がスムーズになり、さらにアレンジが加わるようになりました。入所者の皆さんも関係者の方々も、今年の「やりたいこと」を是非教えてください。ライフサポート、ACP（アドバンスケアプランニング）や終活の取り組みは十分に根付き、「『〇〇さんらしい』とは？」「〇〇さんに、私たち職員が今できることは？」など、常に職員は考えています。「今、希望すること」や「穏やかな最期を迎えるための準備」などは時間

とともに、そして体調とともに変化すると思われませんが、奄美和光園が入所者の皆さんの終の棲家であるからこそ、様々な生活の場面において希望を叶えられるよう、引き続き職員一丸となってお手伝いいたします。

施設整備におきましては、昨年は受電設備データロガー装置の更新に始まり、4月以降は長期計画として管理棟エレベーター増設、あすなろ棟改修整備、発電機棟改修整備が現在も進められています。住み慣れた環境を残しつつ、今年も計画的な施設整備を進める予定となっております。今年度は日本医療機能評価機構による病院機能評価の再審も予定しており、ハード面・ソフト面の双方で入所者の皆さんに安心して生活していただくための整備を行ってまいります。

関係機関の方々、地域の方々におかれましては、感染対策のため気軽にお立ち寄りいただくことが未だできず心苦しく思っておりますが、事前にご連絡をいただくことで入所者の方々に安心して交流していただく新たな時代を迎えました。入所者の皆さんとの交流を通して、そしてホームページ

や広報紙等から当園の「今」を感じていただければ幸いです。また本年11月には第38回ハンセン病コ・メディカル学術集会を開催させていただきます。奄美では初めての開催となりますので至らぬ点もあるかと思われませんが、当園らしい学術集会を楽しんでいただけますと幸いです。

鹿児島県の天然記念物であるトカラ馬は、島での生活に順応して小型化し、日本在来馬の中でも最小クラスとのこと。暑さに強く、農耕や運搬、サトウキビ絞りなどに利用されてきたそうです。環境に馴染みながらも個性を大切に守り、入所者の皆さん、職員、ならびに関係者の皆様にとりまして、何事もウマくいく年となりますことを願い、年頭の挨拶とさせていただきます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

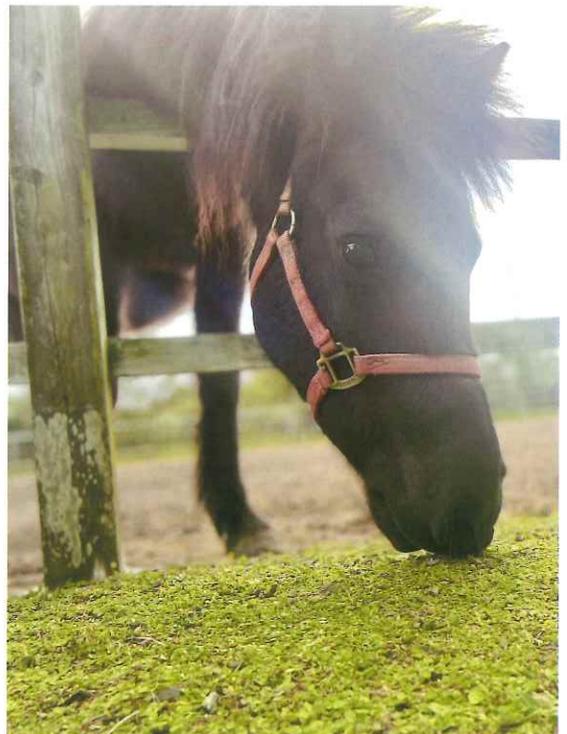
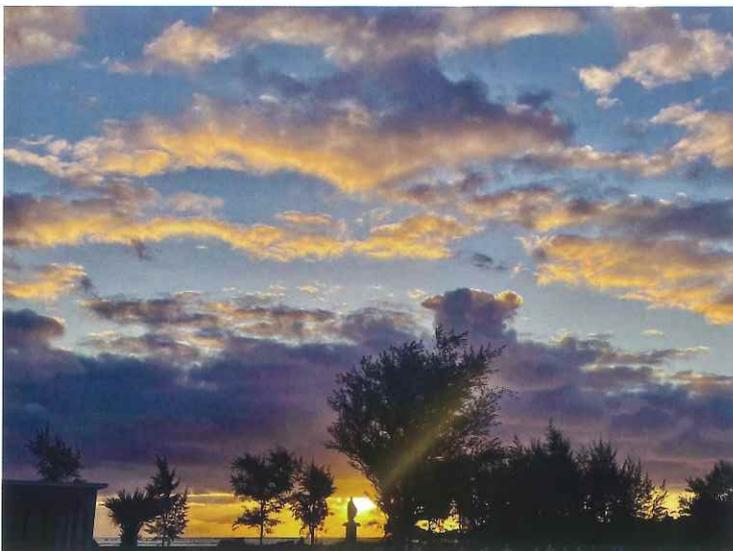


Photo by Hirofumi Horiguchi

## 福岡法務局人権擁護部長等の訪問について

令和7年12月9日(火)、福岡法務局人権擁護部長、人権擁護部第一課長、鹿児島地方法務局長、同人権擁護課長、奄美支局長の計5名が、国立療養所奄美和光園を訪問されました。

当日は午前10時より納骨堂にて献花を行い、亡くなられた入所者への哀悼の意を表しました。その後、交流会館(歴史資料館)及び園内の歴史的建造物を見学し、ハンセン病政策の歴史や、入所者が置かれてきた過酷な状況について理解を深めました。続いて応接室において、園長および事務長から和光園の沿革や現在の取り組み、人権啓発に向けた課題等について概況説明及び懇談が行われました。その中で、ハンセン病問題が決して過去のものではなく、社会全体で記憶を継承していく必要があること、中途半端な人権教育ではかえって偏見・差別を生む原因となること等、認識を共有しました。

今回の訪問を通じて、ハンセン病の歴史を正しく伝え、差別や偏見を二度と繰り返さないための人権啓発活動の重要性を改めて確認する機会となりました。今後も関係機関と連携し、ハンセン病問題を風化させない取り組みを継続してまいります。

事務長 上山 卓朗



## 鹿児島地方裁判所名瀬支部による人権啓発研修を実施して

令和7年12月10日、ハンセン病問題を含む人権教育の一環として、鹿児島地方裁判所名瀬支部の職員3名および司法修習生4名、計7名の方々が国立療養所奄美和光園を訪問し、研修会を行いました。

研修の前半では、園長より約40分間にわたり、ハンセン病の医学的側面に加え、患者・回復者が長年にわたり受けてきた差別や偏見の歴史について講義が行われました。参加者は、制度や社会構造の中で人権侵害が生じてきた経緯を学び、司法に携わる立場としての責任について理解を深めました。その後、納骨堂を参拝し、交流会館(歴史資料館)や旧納骨堂、旧火葬場などの歴史的建造物を、当園職員の説明のもと見学しました。実際の施設や資料に触れることで、ハンセン病問題が過去の出来事ではなく、現在にもつながる課題であること

を改めて実感する機会となりました。

今回の研修を通じて、ハンセン病に対する正しい知識の普及と人権啓発活動において、司法をはじめとする他省庁との連携が、今後ますます重要であることを強く認識しました。

事務長 上山 卓朗



# 奄美和光園 ホスピタルライブ開催

令和7年11月14日に園内あすなるホールにてホスピタルライブが開催されました。千葉県を拠点に平成19年より全国の病院や福祉施設を精力的に回られ、音楽を通して患者や入所者を元気付ける活動を行っておられる、音楽活動家の松尾貴臣さんが奄美大島に来島されました。事前に日程や曲目の調整は行っておりましたが、入所者も職員もこの日が来るのを楽しみにしていました。

当日は、松尾さんのオリジナル曲や多くの方々に馴染みのある名曲を披露頂き、入所者と職員合わせて約40人が、リズムに合わせて手拍子をしたり、その歌声に聞き入ったりして、1時間弱という短い時間ではありましたが、入所者や職員にとって思い出に残る貴重な時間となりました。馬場

園長からも「プロの歌声を聞かせて頂き、素晴らしい機会になりました」との感謝の言葉が述べられました。

最後に、松尾貴臣さん、貴重な機会をありがとうございました。

事務長補佐 白倉 克彦



# 奄美和光園 オープンデー

## みんなで学ぼう!

ハンセン病のことを知ってほしい、奄美和光園の歴史を学んでほしい、との思いから、令和7年11月23日(日)に『奄美和光園 オープンデー』を開催しました。

当日は天候にも恵まれ、400人を超える方々にご来場いただき、園内に設けられた各ブースで、楽しみながらハンセン病のことを学んでいただきました。

来場された方からは「和光園のことは知っていたけど、中に入ったのは初めて」「広くて自然がいっぱいで驚いた」との声が聞かれました。また、「こんなに辛い思いをされて…何も悪いことはしていないのに…」と声を詰まらせる方もいらっしゃいました。

今回は初めての試みで直前まで準備に追われ、奄美和光園をはじめ、ご協力いただいた皆様にもご迷惑をおかけしましたが、入所者の方もイベントに参加していただき、来場された方々の声や子どもたちの笑顔に、スタッフが元気をもらった1日となりました。

もっと多くの人にハンセン病の正しい知識を学んでもらい、社会の差別や偏見に対して理解を深めていただくために、これからも奄美和光園と一緒に取り組んでいきたいと思っております。(文責:奄美市役所 健康増進課 郷田)



### 交流会館見学

歴史的な資料を解説してもらいながら見学。



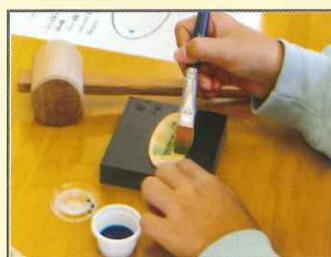
### ミッションシート

和光園の歴史的建造物を回るスタンプラリーや、奄美市のキャラクター「コクトくん」を探すミッションが詰め込まれたシート。



### スタンプラリー

和光園の歴史を学びながら、園内を散策。



### レーザークラフト

和光園の作業療法士さんの指導の下、キーホルダーを作成。

映画「あん」の上映や、あまみ FM の生放送もあり、にぎやか♪



### コクトくんを探せ!

隠れているコクトくんを探しながら園内を探検。



### 紙芝居

「みんなちがう、みんなおなじ」の紙芝居も熱心に。

# 令和7年度 合同慰霊祭

令和7年11月13日、講堂において、合同慰霊祭を厳粛に執り行いました。関係者が参列し、故人の御霊に哀悼の誠を捧げるとともに、静かに祈りのひとときを過ごしました。式典では、黙とう、献花などが行われ、参列者一人ひとりが改めて入所者の方々への感謝と命の尊さに想いを寄せる機会となりました。

遺族代表からは、「心のバリアが完全になくることが故人及び私たち遺族の願いです」とのご挨拶があり、故人への深い想いと、社会への願いが語られました。また、園長からは、「入所者の方々が歩まれてきた日々を心寄せ、これからもその想

いを大切に受け継いでいきたい」との慰霊の言葉が述べられました。

今後も、入所者の方々を偲ぶこの時間を大切にしながら、想いを共有し、心静かに手を合わせる機会を継続してまいります。

医事係長 福田 哲太



## ふるさとお楽しみ便 贈呈式のご報告

12月19日(金)、鹿児島県による「ふるさとお楽しみ便」の贈呈式が、自治会館事務所にて行われました。

この取り組みは、入所者の皆さまに郷土の味を楽しんでいただこうと毎年実施されているものです。当日は、県健康増進課長から入所者代表へ特産品の詰め合わせと、塩田知事からの温かいメッセージが添えられたお手紙が手渡されました。県内各地から厳選された特産品が詰め合わされたこの便には、今年新たに、**屋久島のたんかんゼリー**、**徳之島産の黒糖**、**日置市の焼き菓子**も加わり、例年以上にバラエティ豊かな内容となりました。

贈呈にあたり県健康増進課長からは、「県内各地の美味しいものを食べて、健やかに、良いお年を過ごしてください」と言葉がかけられ、受け取った入所者からは「毎年届けていただき、本当にありがとうございます。とても楽しみにしていまし

た」と感謝の言葉が述べられました。

県の想いと地域の味が詰まった「ふるさとお楽しみ便」は、今年も入所者の笑顔をそっと包む温かい贈り物となりました。

医事係長 福田 哲太



# 令和7年度 第2回 バスレクリエーション

令和7年11月27日、今年度第2回バスレクリエーションが実施されました。場所は大浜海浜公園にある「奄美海洋展示館」です。

奄美に住んでいながら、一度も行ったことがない私は、前日からワクワクしていました。当日の午後1時、ポカポカ陽気で絶好のレクリエーション日和。マイクロバス、ワゴン車に分乗して出発。マイクロバスでは、職員のバスガイドさんの道中市街地案内や、音楽に合わせて歌ったり、手拍子をしたりと和気あいあいでした。

現地到着後、記念撮影をして入館です。入ってすぐに、奄美の海を模した水深5mの水槽でウミガメ、魚がお出迎え。ウミガメが近くにくると「来た、来た」と喜びの声が聞こえてきました。次はエレベーターで2階へ上がり、ウミガメへのエサや

り体験です。エサのレタスを水槽に投げるとウミガメが間近まで寄ってくるので、皆さん食べてもらおうとタイミングを見ながらエサをあげていました。また、同フロアにはVR体験コーナーがあり、「魚がたくさん泳いでいる!」「カメが近くに来ている」と楽しんでいました。

帰園時間までは、展示館をゆっくりと見たり、外で写真撮影や買い物をしたりと、皆さんそれぞれの楽しみ方で時間いっぱい過ごされていました。

次のバスレクリエーションは、どこに行きましょうか?楽しみにしててくださいね。

福祉室 前崎 智美



# ドキドキワクワクのハロウィン

～あまみ保育園のかわいい子どもたちの仮装で園内も笑顔あふれる日がやってきました～

初めてのハロウィン行事に向け、あまみ保育園の子どもたちは当日まで、日々期待を膨らませながら過ごしてきました。保育室では大きなバルーン装飾や窓ガラスにシールを貼り、おばけやカボチャの制作にも挑戦し行事への親しみを深めながら、毎日「晴れますように」と願い心待ちにしていました。

当日は天気にも恵まれ、朝のお集まりでハロウィンの絵本や手遊び歌ですっかり気分も盛り上がり、いよいよ初めてのハロウィン♪この日の為に用意した、かわいらしいジャックオーランタンとミニーちゃんの仮装に身を包み保育者と一緒に園内散歩へ出発です。散歩車にはハロウィンカラーの装飾が施され、いつもとは違う特別な雰囲気の中での散歩にドキドキワクワクの子どもたちです。

交流の場では、職員や入所者の皆さんが優しい笑顔で迎えてくださり「かわいいね」「来てくれてうれしいよ」と温かな言葉をかけてくださいました。沢山のの人に会えて笑顔でハイタッチをする子、少し緊張した様子を見せながらも目を合わせたり手を振ったりと、それぞれのペースで関わろ

うとする姿が見られました。お菓子を手渡していただくと両手で大切そうに受けとり、表情がぱっと明るくなる様子が印象的で行事ならではの特別な時間となり、いつもの散歩コースも子どもたちの可愛さと職員や入所者の皆さんの声援でにぎやかな楽しい散歩になりました。また、子どもたちにとって人とのふれあいや季節行事を体験する貴重な機会となり、安心感や信頼感を育む時間となりました。今後も人と人のつながりを大切にしながら、子どもたちの健やかな成長を支えていきたいと思ひます。

心のこもったたくさんのお菓子のプレゼントありがとうございました。

保育士 碩 茜



# クリスマスイルミネーション

今年も残すところあとわずか、この季節がやってきました。イルミネーションを夜だけでなく、お昼でも、天候が悪くても、入所者の方々に楽しんでいただけるよう室内の設置を充実させました。入所者の方は設置の段階から楽しみにされ、設置を見守ってくださいました。点灯すると、「とってもきれい」「みんなに見せたい」との声が聞かれました。

年末の忙しい中ですが、綺麗に光るイルミネーションを見て、心がワクワクしたり、癒されたりしたら嬉しいです。

看護サービス委員

病棟 看護師 竹下 智美





# クリスマス会



令和7年12月25日のクリスマス当日、不自由者棟ホールでクリスマス会を開催しました。園内のイルミネーション同様、不自由者棟ホールもイルミネーションがキラキラと輝くなか、園長・総看護師長によるかわいいトナカイ&若くて細身の医事係長サンタが登場！入所者へのプレゼントを配り終え、入所者によるハンドベルのきらきら星演奏が披露されました。皆さんそろっての演奏は初めてでしたが、それぞれの順番でベルをならし、素敵なきらきら星が演奏されました。

その後、サービス委員5名によるキレッ

キレのダンスではなく、息切れ切れのジングルベルのダンス、園長のピアノ演奏による赤鼻のトナカイの合唱で会は終了となりました。

感染症流行で規模は縮小、時間も短縮となってしまいましたが、皆さんと楽しいひとときを過ごすことができました。また来年も元気に明るいクリスマスが迎えられますようお祈りしております。

看護サービス委員

病棟 看護師 竹下 智美



# 永年勤続表彰 20年表彰にあたって

## “「あなたは、あなたのままでいい」”

この言葉は、生前今は亡き親友が私に語った言葉でふと思い出した。

お互い家庭を持ち、子供も段々と手のかからない年になり、順風満帆に日々を過ごし、さあこれからという矢先の丁度私が、和光園に入職した20年ぐらい前の出来事で不慮の事故（交通事故）であった。一瞬何が起こったのかわからず、とりあえず病院へ向かった。親友は、綺麗な顔で声をかけると今にでもすぐに起き上がってきそうな顔でベッドに横たわっていた。題記の言葉は、その友人とたわいもなく話していたときに私に語ってくれた言葉だ。

自分は自分のままとは、いったいどんな自分なのか今、改めて考えてみた。援助する者は、自分がどういう性格なのか当然わかっていた方が良いに決まっている。しかし、今まで、はたして自分らしい接し方で援助してきたのか。自分らしくない接し方で援助してきたのではないか。決して、自分らしい接し方が、その人のニーズに沿ったものであるとは限らない。でも少なくとも、自分らしい接し方の方が自分らしくない接し方より、援助される側には通じるの

ではないか。親友が言う「あなたは、あなたのままでいい」と言うのは、自分を飾らず、ありのままの自分で接してごらんとすることではなかったのか。そうすることによって援助される側も、おのずと心を開いてくれるのではないか。こういったあたりまえのことが、40年近くも長い間、福祉の世界に就いていながら、見えていなかったような気がする。遅いかもしれないがやっとそれに気がついた。気がついたというより気づかせてくれたと言った方がよいかもしれない。そう気づかせてくれた今は亡き天国の親友に感謝し、墓前で改めて有難うとお礼を言おうと思う。

と、同時に、和光園に入職して20年もの長い間に私と出会ってくださり色々な事を学ばせてくれた入所者は勿論その家族、同僚に感謝する心を忘れることなく、今から出会う人たちも含め、これからも様々なでき事に、ありのままの自分で向き合っていきたい。

福祉室 MSW 有川 清四郎



## 緊急臨床検査士の資格を取得しました

この度「緊急臨床検査士」の資格を取得しました。緊急臨床検査士とは、日本臨床検査医学会と日本臨床検査同学院が認定する資格で、臨床検査室等において医師の指示のもとに緊急検査を正しく行い得ることを認定された者をいいます。本試験では、緊急臨床検査の項目として採用されている検査について、検査技術の練達度と理論の理解度、基礎知識の取得、検査の精度管理などについての力量を評価されます。

試験内容は「一般検査」「臨床化学検査」「血液検査」「輸血検査」「微生物検査」「生理検査」という6分野の筆記と実技がありました。顕微鏡操作や液状試薬を用いた検査など様々なものが出題されました。

受験に向け学習することで、日常業務の内容を再復習できるいい機会となりました。以前よりも自信を持って業務を行えるようになり、本試験を受験したことが大変有意義なものであったと感じております。今回の結果に満足せず更なるスキルアップ

を目指し、皆様のお役に立てるよう努めていきたいと思っております。

研究検査科 検査技師 古財 直朋



## 国立病院総合医学会に参加して

第79回国立病院総合医学会 in 金沢に11月7・8日の二日間参加してきました。今回の学会テーマは、「輪・環、そして和—未来への「わ」の創成—」とあり、「輪」は、多職種連携やチーム医療、地域連携の推進、災害医療や地域医療の再整備、「環」は、職場環境改善や働き方改革、「和」は、なごみの心や行動を表していました。今回の口演やポスター発表を通して、どの職種

ともチームで情報を共有し、入所者だけでなく、職員も一人の人として、お互いを尊重し、共に前に進んでいくための決意のようなものを感じました。

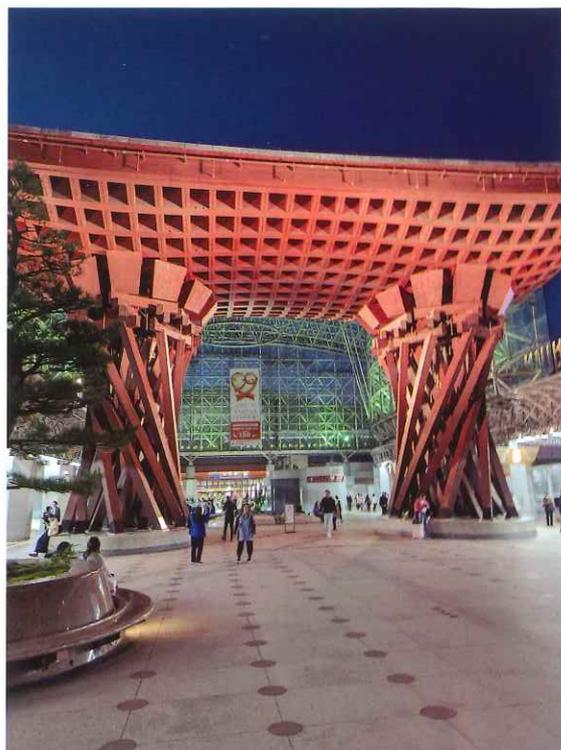
金沢は、奄美と比べると10℃近く気温差があり、その寒さと、豪華な金箔の装飾品や建物の内装などに圧倒されました。学会は、5会場に分かれており、プログラム片手に時間や場所を確認しながら沢山の口

演やポスター発表を聞いてきました。

私たちと同様に悩み、考え、「どうしたら、より良い看護となり、入所者が安全・安楽に過ごせるのか」を研究的視点で振り返りながら取り組まれ、どれも参考になるものばかりでした。また、AIの時代を感じさせる口演もあり日々進歩していることを実感でき、これからも学び続ける努力が必要であると感じました。学会での学びを

今後の業務に活かしていきたいと思います。今回、このような貴重な機会を頂き、参加することができ、ありがとうございました。

不自由者棟 副看護師長 山口 千春



【奄美和光園の演題及び発表者】

園 長	馬場 まゆみ ＜口演発表＞	指導不足により繰り返し投与されていたカルボシステインによる小児の固定薬疹疑い症例
理学療法士	山入端 貢	退院に向けた居室内環境調整に対し拒否が強い症例への理学療法士の対応 ～共同意思決定 (SDM: Shared Decision Making) を用いて～
副看護師長	松元 くるみ	ハンセン病療養所A園における高齢入所者の自己効力感を高める看護援助
看護師	肥後 加奈美	薬剤の過少投与、スキンテアのインシデント減少を目指して ～KYT学習と統一したケアへの取り組み～

## 令和7年度 国立ハンセン病療養所介護員研修

令和7年度国立ハンセン病療養所介護員研修が、12月4・5日、国立療養所長島愛生園において開催されました。

研修の目的は、「国立ハンセン病療養所に勤務する介護員の役割と責任を再認識し、介護の専門性を発揮しながら多職種との連携を促進し、入所者に対する介護の質を向上させる」でした。研修初日には、山本園長による「介護の役割と介護員に期待されること」の講義から始まり、他6名の講師による講義や演習があり、介護員としての知識、技術、態度を再確認することができました。なかでも中尾自治会長が講義で話された「穏やかな療養ができる環境を作ってほしい」との言葉が、私たち職員に望まれている支援内容なのだと実感しました。2日目は、「入所者の生きがいを叶える生活支援」をテーマにグループ討議を行いました。事前課題として提出した入所者の「生きがい」を多職種と考え実践した事例をもとに、「入所者の生きがいを叶えるために介護員として何が大切かを考える」「実践するための具体的な取り組み計画を立てる」について討議を行いました。

他園においても入所者の高齢化が進みADLの低下等に伴い、思いを伝えることができない状況にあります。入所者の表情やちょっとしたサインを見逃さないこと、また多職種で入所者の思いを共有し同じ目標に向かって支援することの重要性を再認識しました。他にも園内散策や歴史館、でんしょう愛生館の見学など貴重な資料を拝見し現地開催ならではの良さを感じました。

この研修の受け入れ施設であった長島愛生園の山本園長、中尾自治会長をはじめ職員の皆様のおもてなしや優しい心遣いに感謝申し上げます。今後も介護員として常に入所者の思いに寄り添い、大切なもの「生きがい」を理解し、その人らしい生活が過ごせるよう多職種と連携し希望が実現する介護を実践して参ります。

病棟 介護長 藤田 加穂子



星塚敬愛園 菊池恵楓園の皆さんと



長島愛生園のらぶりぶ

## 令和7年度 第2回園内感染予防対策研修

今年度の第2回園内感染予防対策研修は、全職員を対象に11月に5回開催しました。今回のテーマは「冬に流行する感染症とその予防について」です。よく耳にする病気ですが、インフルエンザや新型コロナウイルス感染症、感染性胃腸炎は、毎年必ずと言っていいほど流行します。感染対策は手洗い（手指衛生）・咳エチケット（マスク着用）・換気・環境の清拭消毒といった基本的なことがとても重要になります。

研修では、和光園で実際にあった事例を通して、今後の課題や対策などを共有することができました。熱心に研修を受けて頂き、研修終了後のアンケートでは、「マスク着用、換気、手洗い、環境整備など再確

認できた。この内容を意識して実践したい」「分かりやすかった」「これから役立つ」という意見が多くありました。

I C T委員は、日頃の感染対策を支援していますが、和光園の職員の皆さんは感染に対する意識がとても高いと感じさせられることが多くあります。日々の感染対策へのご協力、本当に感謝しています。これからも入所者の皆さん、そして職員の皆さん自分自身を守るため感染対策を頑張っていきたいと思います。

I C T委員

不自由者棟 看護師 巴 誉子



# アロマ精油について ～薬剤師の訪問がありました～

令和7年11月28日、奄美たんかん・花良治みかんの精油を作られた薬剤師の鴨川弥矢さんの訪問がありました。当日は、交流会館・歴史的建造物の見学と懇談会、病棟・不自由者棟の見学、入所者へのアロマ施術の実際を見ていただきました。

懇談会は、馬場園長、田中総看護師長、二木作業療法士、フットケアメンバーが参加し、和光園でのメディカルアロマセラピーの取り組みに関する意見交換や精油についてお話を伺うことができました。現在、和光園ではメディカルアロマセラピーを取り入れています。日本の医療施設においてアロマを取り入れている施設は少ないという現状を知ることができ、当園は貴重な医療機関だと実感しました。メディカルアロマセラピーは、緩和ケアや精神科の分野で活用されていることが多いということ、植物から作られるアロマ精油は収穫される時期や環境、気温、天候、土壌条件などによっても成分が変化し香りに影響するということ、アロマ精油はとても貴重なものであることを学ぶことができました。また、自然や農家の方などの作り手に対し、感謝の気持ちをもって使用することの大切さを教えていただきました。

フットケアチームより、和光園でアロマ精油を使用するにあたり、精油を2種類以上使用する場合の時間間隔や組み合わせの問題など、疑問に思うことをいくつか質

問させていただきました。こちらに関しては、時間間隔を空けて使用することが理想的であるが、現在使用している濃度や組み合わせでも問題ないため「利用者が香りを重ねることで不快を感じなければ良い」との回答をいただき、スタッフと共有しています。

今後も、スタッフ間で意見交換を行いながら、入所者が香りや施術を通して心地良さを体感でき、穏やかな時間を過ごすことができるよう努めていきたいと思っております。このような機会をいただきありがとうございました。

### フットケアチーム

- |       |       |        |
|-------|-------|--------|
| 治療棟   | 副看護師長 | 松元 くるみ |
| 病棟    | 看護師   | 久永 美紀  |
| 不自由者棟 | 看護師   | 鶴村 あさみ |



# NST News Letter

No.36

## 栄養素

ヒトは、生命を維持するために必要な物質を摂取して、エネルギーの産生、体の構成成分への転換など、様々な形で利用します。この物質を栄養素といいます。栄養素は、糖質、脂質、蛋白質、ミネラル、ビタミンの5種類に分類されます。今回、この内の一つであるミネラルについてお話させていただきます。

## ミネラルとは

ミネラル（無機質）とは、酸素・炭素・水素・窒素以外の元素の総称で、カルシウム、鉄、ナトリウムなどがあり、体内で作れないため食事から摂る必要のある5大栄養素の一つです。骨や歯の形成、神経・筋肉の機能調節、体液のバランス維持など、体の組織構成や生理機能の調節に不可欠で、多量に摂る「多量ミネラル」と少量で良い「微量ミネラル」に分けられ、不足しても摂りすぎても問題があるため、バランスの取れた食事が重要です。

## ミネラルの主な働き

### ①体組織の構成

骨や歯（カルシウム）、血液（鉄）、細胞などの材料になります。

### ②生理機能の調節

神経伝達、筋肉の収縮、体液のバランス（電解質）、ホルモン分泌、代謝促進などに関わります。

### ③代謝のサポート

酵素の構成成分となり、エネルギー代謝を支えます。

## ミネラルの種類と分類

- ・多量ミネラル：ナトリウム、カリウム、カルシウム、マグネシウム、リンなど。
- ・微量ミネラル：鉄、亜鉛、銅、マンガン、ヨウ素、セレン、クロム、モリブデンなど。

## 摂取のポイント

多くの種類があり、特定の食品に偏らず、主食・主菜・副菜をバランス良く摂ることが基本です。ビタミンCは鉄の吸収を、ビタミンDはカルシウムの吸収を助けます。体内で作れないため、不足は欠乏症、摂りすぎは過剰症の原因になるため、サプリメント利用時は摂取目安量を守りましょう。

## ミネラルが豊富な食品例

- ①カルシウム：乳製品、小魚、大豆製品、緑黄色野菜（小松菜）など。
- ②鉄：レバー、赤身肉、ほうれん草、大豆製品など。
- ③亜鉛：牡蠣、レバー、牛肉、ナッツ類、ゴマなど。
- ④マグネシウム：ナッツ類、海藻類、緑黄色野菜など。

研究検査科 検査技師 古財 直朋



令和7年度 診療統計

	外来診療					再掲			入院診療	分子標的薬	
	初診(人)	再診(人)	合計(人)	1日平均(人)	診療実日数(日)	紫外線療法(件)	手術/生検(件)	フットケア(件)	延患者数(人)	導入	維持療法(累計)
11月	41	188	229	25.4	9	41	0	7	0	0	1
12月	54	219	273	136.5	2	52	2	10	0	1	2
1月	37	198	235	23.5	10	45	11	4	0	0	2

学芸員が配置されました

交流会館 学芸員 中畑 勝見 (なかはた かつみ)



1月1日付で交流会館の学芸員として着任いたしました。奄美大島はこれまで仕事で何度も訪れていましたが、居心地が良すぎて昨年4月に移住してまいりました。学芸員としてはまだまだ知識不足で、皆様にはご迷惑をお掛けするかと思います。ご指導の程よろしくお願ひいたします。また、八月踊り、舟こぎ、六調太鼓、三味線など奄美の文化も大好きですので、何か楽しいことがありましたら、ぜひお声掛けください。

和光園日誌 (令和7年11月1日～令和8年1月31日)

- R 7. 11. 7～8 第79回国立病院総合医学会(金沢)
- 11. 13 合同慰霊祭・情報セキュリティ監査
- 11. 14 松尾貴臣氏ホスピタルライブ
- 11. 20 医療施設立入検査・園外ショッピング
- 11. 27 バスレク
- 12. 1～3 会計事務監査指導及び会計指導
- 12. 9 法務局(福岡法務局・鹿児島地方法務局)来園
- 12. 10 鹿児島地方裁判所名瀬支部 司法修習生来園
- 12. 11 クリスマスイルミネーション設置
- 12. 18 施設基準等に係る適時調査
- 12. 19 ふるさとお楽しみ便贈呈
- 12. 23 第38回アニマルセラピー
- 12. 25 クリスマス会
- 12. 26 仕事納め式
- R 8. 1. 5 仕事始め式
- 1. 15 永年勤続表彰・園外ショッピング
- 1. 22 第39回アニマルセラピー
- 1. 29 県立大島病院研修医来園(見学)

編集後記

新年明けましておめでとうございます。今年は午年です。午は、力強く前へ進む姿から、物事が順調に進む年、運気が上向く年とも言われています。今年が、安全に、そして着実に前へ進んでいける一年となるよう願っております。

奄美では、1月下旬から2月上旬にかけ緋寒桜が見頃を迎えます。一足早い春の訪れを感じられる季節になりますが、まだまだ寒さが続いております。皆様どうぞくれぐれもご自愛ください。

和光編集委員 福崎 昭徳